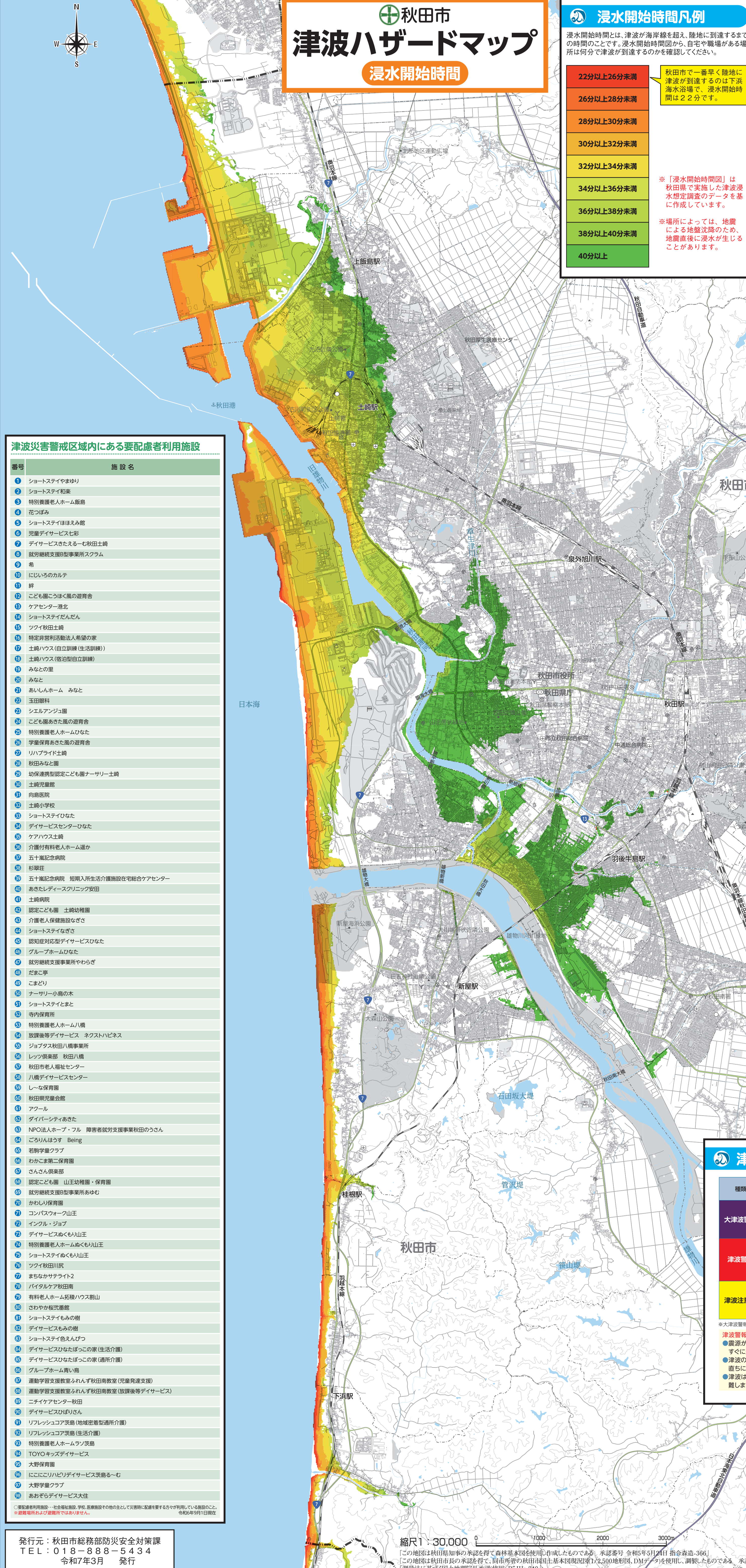




秋田市

津波ハザードマップ

浸水開始時間

浸水開始時間凡例

浸水開始時間とは、津波が海岸線を超え、陸地に到達するまでの時間のことです。浸水開始時間図から、自宅や職場がある場所は何分で津波が到達するのかわかるようになります。

22分以下26分未満	秋田市で一番早く陸地に津波が到達するのは下浜海水浴場で、浸水開始時間は22分です。
26分以上28分未満	
28分以上30分未満	
30分以上32分未満	
32分以上34分未満	
34分以上36分未満	
36分以上38分未満	
38分以上40分未満	
40分以上	

※「浸水開始時間図」は秋田県で実施した津波浸水想定調査のデータを基に作成しています。

※場所によっては、地震による地盤沈降のため、地震直後に浸水が生じることがあります。

津波からの避難について【秋田市の考え方】

○「より早く」「より遠く」「より高く」避難する！

- ・より早く避難を開始してください。
- ・海や浸水地域からより遠いところへ避難してください。
- ・より高いところ（高台など）へ避難してください。

○強い地震や長くゆっくりとした地震を感じたら、津波警報や避難指示を待たず、避難（または避難準備）を開始する！

- ・津波警報が発表されるまで1～数分、避難指示が発令されるまで数分かかることがあります。津波警報の発表や秋田市からの避難指示の発令を待たずに、避難の準備または避難を開始してください。

○まずは津波災害警戒区域の外を目標に避難する！

- ・はじめから津波避難ビルなどを避難の目標とするのではなく、まずは危険な地域の外に出ることが重要です。
- ・海岸付近にいる人は直ちに海岸から避難してください。津波は川を遡上するので、秋田運河や雄物川などの河岸に近づかないでください。

○避難が間に合わないときは、近くの津波避難ビルへ！

- ・危険な地域（津波災害警戒区域）の外へ避難するのが間に合わない場合は、近くの津波避難ビルなどに避難してください。
- ・現在地から近いからといって、津波がくる方向にある津波避難ビルへの避難は×

○特に市街地では津波の進行方向を考慮して避難する！

- ・浸水開始時間図から津波の進行方向が予想できます。津波の進行方向に注意しながら避難してください。

○原則徒歩で避難する！

- ・車での避難は道路の液状化や渋滞などで避難の妨げになることから、徒歩での避難が原則です。

○津波警報などが解除されるまで海岸等に近づかない！家に戻らない！

- ・津波は繰り返し襲ってくる可能性があります。津波警報などが解除されるまでは海岸に近づいたり、家に戻ったりしないようにしてください。

津波災害警戒区域内にある要配慮者利用施設

番号	施設名
1	ショートステイまゆり
2	ショートステイ和楽
3	特別養護老人ホーム飯島
4	花つばみ
5	ショートステイほほみ館
6	児童デイサービス七彩
7	デイサービスきたえるーむ秋田土崎
8	就労継続支援B型事業所スクラム
9	希
10	にじいろのカルテ
11	絆
12	こども園こうほく風の遊育舎
13	ケアセンター港北
14	ショートステイだんだん
15	ツクイ秋田土崎
16	特定非営利活動法人希望の家
17	土崎ハウス（自立訓練（生活訓練））
18	土崎ハウス（宿泊型自立訓練）
19	みなとの里
20	みなと
21	あいしんホーム みなと
22	玉田眼科
23	シエルアンジュ園
24	こども園あきた風の遊育舎
25	特別養護老人ホームひなた
26	児童養育あきた風の遊育舎
27	リハビリaid土崎
28	秋田みなと
29	幼保連携型認定こども園ナーサリー土崎
30	土崎児童館
31	向島医院
32	土崎小学校
33	ショートステイひなた
34	デイサービスセンターひなた
35	ケアハウス土崎
36	介護付有料老人ホーム通か
37	五十嵐記念病院
38	杉原荘
39	五十嵐記念病院 短期入所生活介護施設在宅総合ケアセンター
40	あきたレディスクリニック安田
41	土崎病院
42	認定こども園 土崎幼稚園
43	介護老人保健施設なごさ
44	ショートステイなごさ
45	認知症対応型デイサービスひなた
46	グループホームひなた
47	就労継続支援事業所やわらぎ
48	だまご亭
49	こまどり
50	ナーサリー小島の木
51	ショートステイとま
52	寺内保育所
53	特別養護老人ホーム八橋
54	放課後等デイサービス ネットハピネス
55	ジョブタス秋田八橋事業所
56	レッツ倶楽部 秋田八橋
57	秋田市老人福祉センター
58	八橋デイサービスセンター
59	レーな保育園
60	秋田県児童会館
61	アグル
62	ダイバーシティあきた
63	NPO法人ホープ・フル 障害者就労支援事業秋田のうさん
64	ごろんはうす Being
65	若駒学童クラブ
66	わかこま第二保育園
67	さんさん倶楽部
68	認定こども園 山王幼稚園・保育園
69	就労継続支援B型事業所あゆむ
70	かわり保育園
71	コンパワーク山王
72	インクル・ジョブ
73	デイサービスめくもり山王
74	特別養護老人ホームめくもり山王
75	ショートステイめくもり山王
76	ツクイ秋田川尻
77	まちなかサテライト2
78	バイタルケア秋田南
79	有料老人ホーム拓穂ハウス朝山
80	さわかや桜葉館
81	ショートステイもみの樹
82	デイサービスもみの樹
83	ショートステイ色えんびつ
84	デイサービスひなたぼっこ（生活介護）
85	デイサービスひなたぼっこ（通所介護）
86	グループホーム青い鳥
87	運動学習支援教室ふれんず秋田南教室（児童発達支援）
88	運動学習支援教室ふれんず秋田南教室（放課後等デイサービス）
89	ニチイケアセンター秋田
90	デイサービスひばりさん
91	リフレッシュコア茨島（地域密着型通所介護）
92	リフレッシュコア茨島（生活介護）
93	特別養護老人ホームランズ島
94	TOYOキッズデイサービス
95	大野保育園
96	にこにこハビリティデイサービス茨島るーむ
97	大野学童クラブ
98	あおぞらデイサービス大住

※記載者利用施設、社会福祉施設、学校、児童福祉施設その他の主として児童福祉に要するものが利用している施設のみを、令和6年9月1日現在。

※掲載場所および避難所ではありません。

日頃からの備え

○津波ハザードマップの確認（津波災害警戒区域内外の確認、避難先の確認）をしておく！

- ・津波から迅速に避難するためには、平時から津波ハザードマップを確認しておくことが重要です。自分の住んでいる地域は津波災害警戒区域なのか、どこに避難したらよいかなどをあらかじめ確認しておきましょう。

○非常持ち出し袋（リュックサック）の準備をする！

- ・避難に使える時間を少しでも多く確保するためには、あらかじめ非常持ち出し袋を用意しておくことが大切です。
- ・非常持ち出し袋は両手があくリュックに入れておくとうまいです。1人に1袋用意しておきましょう。

○避難訓練を実施し、避難経路の確認や避難に必要な時間を計測しておく！

- ・平時から避難訓練を実施し、避難先までの避難経路の確認と、避難にかかる時間を計測しておきましょう。
- ・避難速度の目安は約10分/km（はやり程度）です。

○津波の浸水開始時間から避難に必要な時間を引いて、準備に使える時間を考える！

- ・津波の浸水開始時間が25分、避難にかかる時間が20分だとすると、避難の準備に使える時間は5分です。
- ・あらかじめ非常用持ち出し袋を準備しておいて、避難を開始するまでの時間をできるだけ短くするように工夫しましょう。

想定される最大クラスの津波について

このハザードマップは、秋田県が設定した3つの海域（下記ABC）の運動地震により最大クラスの津波が発生した場合、どの程度の浸水域や浸水深となるかを想定したものです。なお、震源地や揺れ方によって、この想定よりも早く津波が到達するおそれがあります。

運動地震

各想定地震の震源地

海域A+B+C（マグニチュード8.7程度）
[最大浸水深6m]

単独地震

海域A（マグニチュード7.9程度）
日本海中部地震（マグニチュード7.7）等を参考
[最大浸水深5m]

海域B（マグニチュード7.9程度）
佐渡島北方沖、秋田県沖、山形県沖の地震を想定
[最大浸水深6m]

海域C（マグニチュード7.5程度）
新潟県北部沖、山形県沖の地震を想定
[最大浸水深5m]

津波の特徴

①津波は繰り返し来る

津波は繰り返し襲ってくる可能性があります。また、第1波よりも後の波が高くなることがあります。

②津波は河川を遡上する

津波は海からだけでなく、河川を遡上して来ることがあります。

③津波は引き波で始まるとは限らない

地震の発生仕方によっては、いきなり大きな波が押し寄せることがあります。

④地形によって津波の高さが変わる

岬や湾などの入り組んだ地形では、津波の高くなりやすいため、注意が必要です。

地形による津波の増幅の例

V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。

峰の先端では、津波が海岸線に対して平行にならずにエネルギーが集中し、波高が高くなります。

出典：気象庁ホームページ「津波発生と伝播のしくみ」
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami/generation.html

津波注意報・津波警報・大津波警報

種類	発表される津波の高さ	取るべき行動	想定される被害
大津波警報	10m超（10m<予想される津波の最大波の高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m（5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m）		
	5m（3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m）		
津波警報	3m（1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m）	—	海の中では人は遠い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。

※大津波警報も（特別警報）に位置づけられています。

津波警報、注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報、注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等により、局部的に予想より高くなる場合があります。ここら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。

出典：気象庁ホームページを加工して作成

防災ネットあきたへ登録を！

防災ネットあきたとは、メールアドレスを登録された方に対して避難情報や災害情報などをメール配信するシステムです。

利用登録はこちらから！

右の二次元コードを読み取るか、Eメールアドレス（bousai.akita-city@raidan2.ktaiwork.jp）を宛先に入れ、空メールを送信してください。

お問い合わせは、防災安全対策課まで（TEL:018-888-5434）